

# 注意事項

1. 本資料はコアマイクロシステムズ製品の構成パターンのサンプルです。お客様向けに使用される際はパートナー各社のテンプレートに引用いただきご活用下さい。
2. 本資料は作成日時点での情報をもとに作成しています。最新版については、弊社パートナーログインからダウンロードしご利用ください。
3. 本資料はあくまでサンプル構成をもとに作成したものであり、実際のお客様に対するご提案書についてはお客様のご要件をヒアリングいただいたのち、ご要件にあったご提案書を作成、ご提出ください。サイジング等については弊社営業担当者までお申し付けください。
4. 本資料は不特定多数の方々への配布及び閲覧できる場所への掲示を禁止しています。
5. **直接・間接を問わず、本資料に起因したいかなる損害に対して弊社は責任を負いません。予めご了承のうえご利用ください。**
6. その他ご不明な点は弊社マーケティング担当までお申し付けください。

コアマイクロシステムズ株式会社 マーケティング担当 宛

Mail:mkt@cmsinc.co.jp

Tel:050-5558-5410(IP電話)



# Solid STORシステム構成例

= Contents =

1. 構成例1: SAN環境のパフォーマンス向上
2. 構成例2: DB環境のパフォーマンス向上

コアマイクロシステムズ株式会社  
平成21年9月9日



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



## 構成例 1



# 構成目的

1. SSDにMetadataボリュームを配置することにより、SAN環境におけるMetadata共有遅延を無くし、システム全体のパフォーマンスを改善する。
2. SSDにMetadataボリュームを配置することにより、SAN環境で最も重要な部位を故障の少ないハードウェアに移行する

## 適用

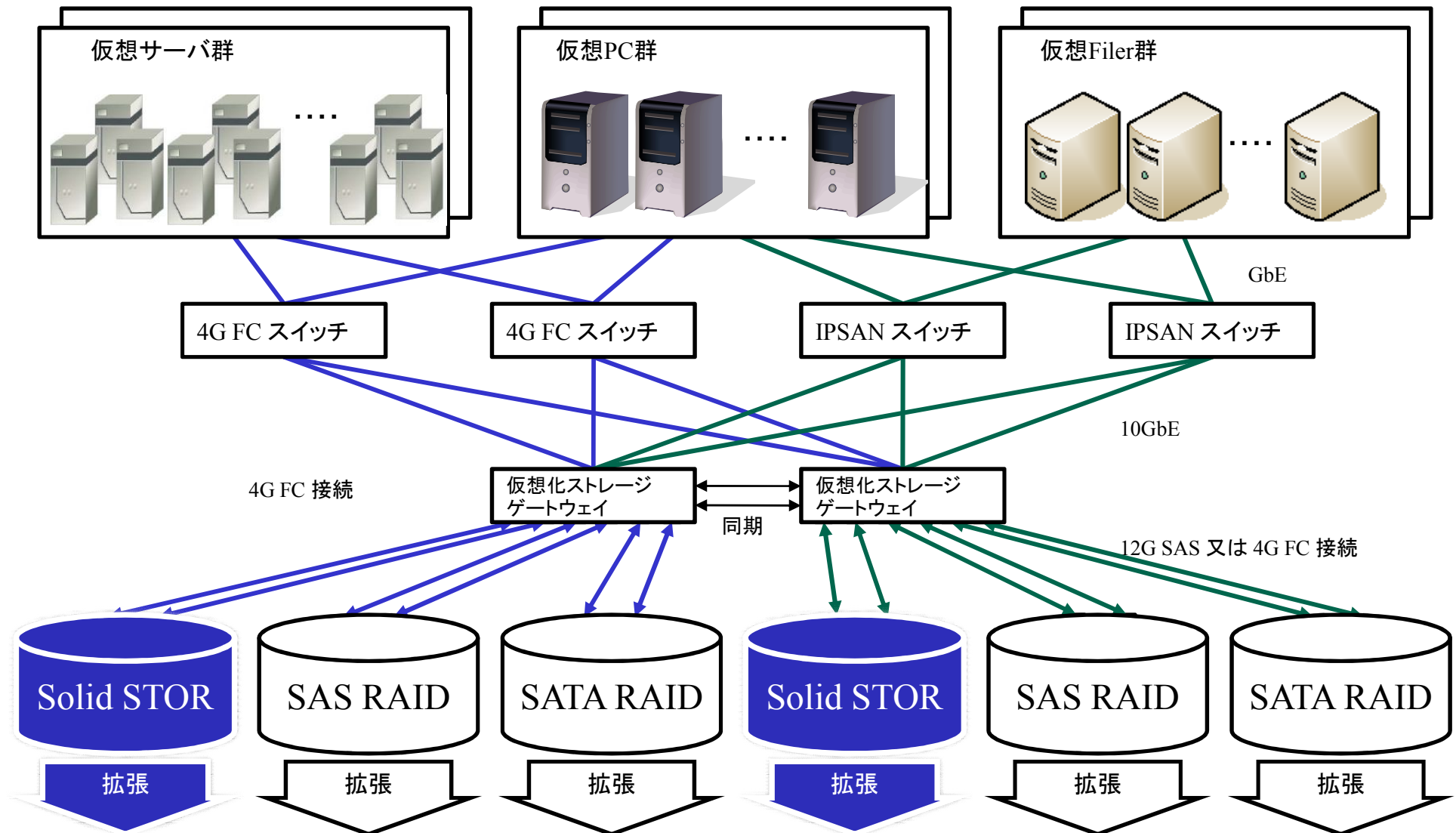
Net MASTOR (Nexenta) ベース ZFS クラスタ環境

StorNext SNFS クラスタ環境

など



# 構成





## 構成例2



# 構成目的

1. DBのIndex、もしくはIndexとテーブルをSSDに配置することにより高速化、ならびにフラグメンテーション発生によるパフォーマンス低下をなくす。
2. パフォーマンス向上を目的としたハードウェアの追加投資をなくす。

## 適用

Oracle 10g以降

MS SQL Server

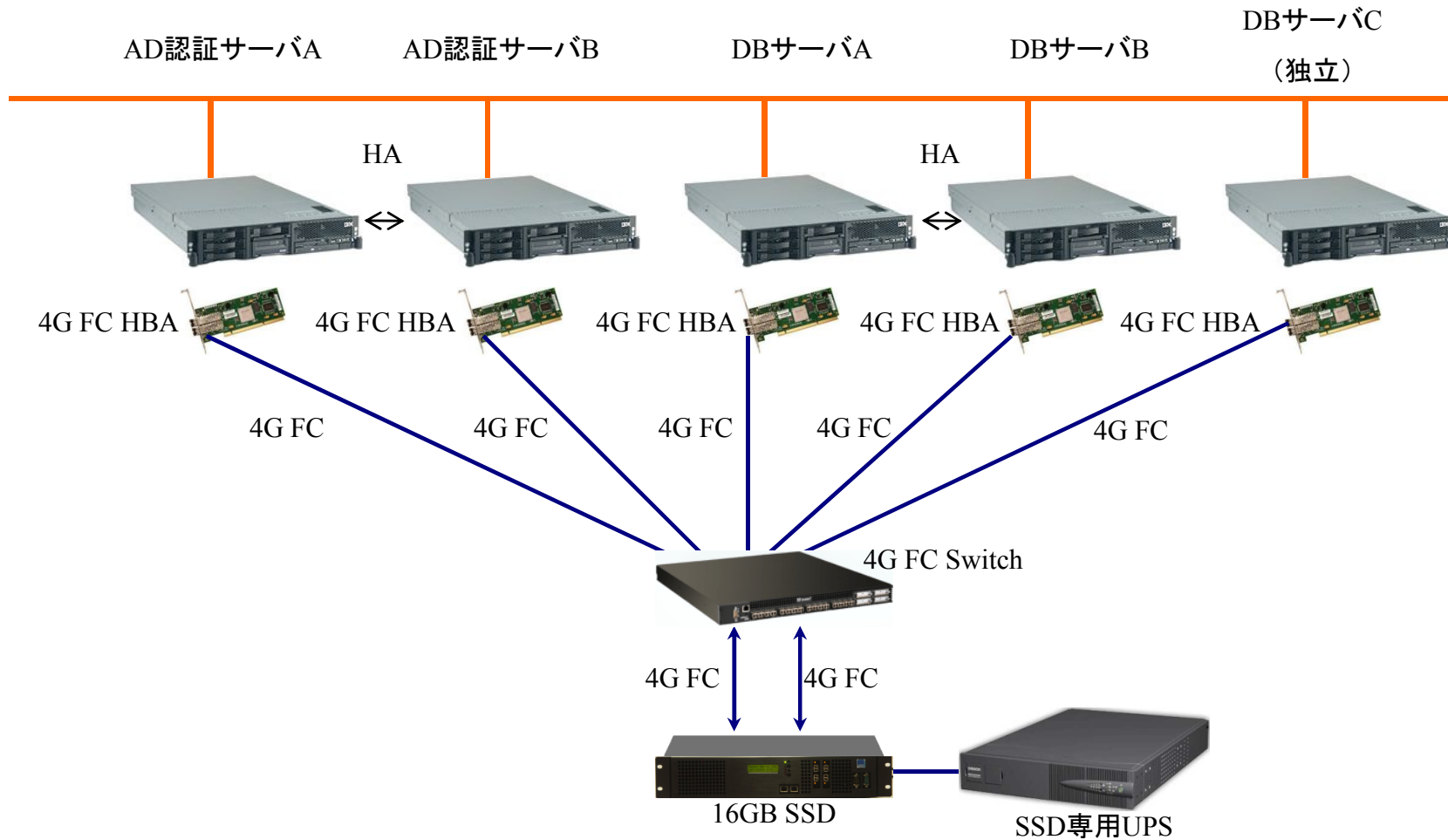
MS Exchange

MS Active Directoryの認証サーバ

など



# 構成







## コアマイクロシステムズ株式会社

Core Micro Systems, Inc.

URL: <http://www.cmsinc.co.jp/> Mail: [sales@cmsinc.co.jp](mailto:sales@cmsinc.co.jp)  
TEL: 03-5917-6451 IP Phone: 050-5558-5410 FAX 03-5917-6452  
本社 〒173-0026 東京都板橋区中丸町11-2 ワコーレ要町ビル9F



Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.